

今回は、昨年12月号の街かどレポート「篠山春日神社秋祭り」でお伝えした鉾復活についてお伝えします。

今よみがえる 百十年振りの鉾復活巡行！



芸術文化振興基金をはじめ、公的補助金および寄付金を募った資金をもとに、鉾山9基のうち、「鳳凰山」「三笠山」の鉾の修復が完了。3月19日には、輝きを取り戻した「鉾」が屋根に掲げられ、約1世紀ぶりに河原町通りを巡行しました。昔ながらの町並みを進むその優美な姿に多くの方が見入っていました。



リポーター 畑弘恵さん

鉾復活大作戦！

毎年10月に行われる「篠山春日神社秋祭り」。9基の鉾山巡行は、実に350年を超える伝統行事。屋根の上にはそれぞれ特徴のある「鉾」をつけて運行していましたが、今から110年前の明治43年、電気の開通により、その電線が障害となり、鉾をつけた巡行をすることができなくなりました。

しかし、令和3年に河原町通りの無電柱化工事の完成により「鉾復活」の可能性がうまれました。そこで、地域住民らで組織する鉾復活実行委員会が立ち上がり、伝統行事の完全な復活をめざすことになりました。また、復活にあたり、クラウドファンディングで寄付金を募り、目標200万円を上回る217万6千円の寄付金が集まりました。そして、保存されていた「鳳凰山」「三笠山」の2基の鉾が修復され、3月19日には、その披露のため、巡行が行われました。



記念式典では、安全巡行を願う祈願祭も行われました



多くの観光客にも注目されました



三笠山(上河原町)の巡行



鉾復活セミナーや講演には多くの参加者が集まりました



見送り/【左】鳳凰山、【右】三笠山



笛や鉦、太鼓を響かせ巡行する鉾山



屋根の上に高々と取り付けられる「鉾」



三笠山と地域の皆さん



鳳凰山(下河原町・小川町)の巡行

さんざんと輝く鉾復活巡行！

この時代の誰一人として見たことも経験したこともない鉾を掲げた鉾山巡行。古い絵図と文献や、有識者の助言をもとに、元の姿に修復された「鉾」は、110年の時を経て再び屋根の上に高々と掲げられました。電柱がなくなり、より一層、歴史が薫る町並みには青空が映え、鉾はさんざんと輝いていました。子どもたちが奏でるお囃子とともに優雅に河原町を巡行する鉾山に、地元の人々も心を熱くされていました。この日は、鉾復活に関する講演や式典も行われ、市内外から多くの人々が集まり、歓喜を共にしていました。今後は「全9基の鉾復活や、100年後を見据えた修復」についての話があり、祭りを通じた地域の活性化に期待が高まりました。

鉾復活巡行
全国伝統的建造物群保存地区協議会
丹波篠山市大会に併せて開催！

開催日 5月23日(火) 10:00～11:00
場所 河原町交差点～上河原町集会所前
※雨天時は鉾の展示



この様子は、「丹波篠山まるいの」TVでも紹介されています。ぜひ、ご覧ください。



「鉾を誇りに！」鉾復活を祝って、地域の皆さんの笑顔が集まりました



「江戸時代の鉾山巡行絵図」